

## 第 36 回東海障害者卓球大会(サウンドテーブルテニスの部) 開催要項

1. 目的 センター利用者を始め、STT(サウンドテーブルテニス)を愛好する多くの視覚障害者が、日ごろの練習で身につけた技術を競い合い、競技レベルの向上を目指す。また、大会を通じて参加者相互の交流と親睦を図り、他府県での活動状況や競技に関する情報交換ができる場であるとともに、視覚障害者の社会参加の促進に寄与することを目的とする。
2. 主催 社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
3. 後援 社会福祉法人 名古屋市身体障害者福祉連合会
4. 協力(予定) 名古屋市障害者スポーツセンター 登録審判員  
名古屋市障がい者スポーツ指導者協議会  
名古屋市障害者スポーツセンターボランティア  
至学館大学  
愛知医療学院短期大学  
星城大学
5. 日時 平成30年3月11日(日)  
選手受付 9:00~  
開会式 9:30~  
競技開始 9:45~  
閉会式(予定) 16:00
6. 会場 名古屋市障害者スポーツセンター 体育室・STT室・会議室  
(愛知県名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地 電話:052-703-6633)
7. 競技種目 サウンドテーブルテニス 個人戦
8. 参加資格 満13歳(平成29年4月1日現在)以上で、身体障害者手帳を所持する視覚障害者。(障害程度は問わない)
9. 定員 男性39名、女性30名とする。(ただし、申込状況により変更する場合がある。)なお、定員を超えた場合は、東海地区の申込者を優先し、抽選により決定する。
10. 参加料 無料
11. 競技規則 本年度(公財)日本障がい者スポーツ協会編 全国障害者スポーツ大会競技規則集及び、本大会申し合わせ事項による。

12. 競技方法 試合は予選リーグを行い、予選リーグの1・2位で決勝トーナメントを行う。  
11ポイント3ゲームズマッチとする。ただし、参加申し込み状況により予選リーグの1位で決勝トーナメントを行う場合、または予選リーグのみ15ポイント1ゲームマッチとする場合がある。
13. 申し合せ事項
- ・タイムアウト、促進ルールは適用しない。
  - ・競技領域はフェンスにより区切り、区別できるものとする。
  - ・試合球は、(公財)日本障がい者スポーツ協会検定球(オレンジ、ニッタク)
  - ・ゼッケン(縦20cm×横30cm以下)は各自で用意し、背部に付けること。ゼッケンには選手名その他、都道府県名、指定都市名、団体名のいずれかを記入すること。
  - ・服装は、本年度(公財)日本卓球協会制定のものが望ましい。
  - ・アイマスクは各自で用意し、着用すること。
  - ・「アドバイザー(助言者)」は認めない。
14. 表彰 男女別に、優勝、準優勝、3位を表彰する。
15. 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を記入し、下記まで郵送もしくは持参すること。  
なお、申込みの受付をもって参加決定とする。  
ただし、申込みが定員を超えた場合は、参加者の決定後2月11日(日)までに該当者あて通知する。(連絡のないものは参加決定とする。)  
\* F A Xでの申し込みは不可、問い合わせはF A X可とする。
16. 申込先
- |   |
|---|
| 〒465-0055 愛知県名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地<br>名古屋市障害者スポーツセンター内 大会担当 水谷<br>電話052-703-6633 / FAX052-704-8370<br>*開催要項と参加申込書は、当センターウェブサイトからダウンロード可能。 |
|---|
17. 申込期間 **平成30年1月4日(木)~1月30日(火) 申込書必着!!**
18. その他
- ・大会開催中のケガ・事故については、応急手当は行いがその他の責任は負いかねるので、健康管理には十分に注意すること。
  - ・大会開催中の損失、損害、傷病、肖像権などについては損害賠償を大会側に請求できない。
  - ・ゴミは各自で持ち帰ること。
  - ・昼食は各自で用意すること。
  - ・駐車場に限りがあるため、公共交通機関を利用のこと。また、車での来場の場合はなるべく乗り合いで来所のこと。
  - ・競技運営上、暖房器具の稼働が困難な場合がある為、防寒着の準備をお勧めします。
19. アクセス 別紙「宿泊について」を参照のこと。